

株主通信



三井金属

Contents

- | | | | |
|----|---|----|----------|
| 01 | トップメッセージ | 06 | 上半期トピックス |
| 03 | 創業150周年広告およびサイトの紹介 | 07 | 会社概要 |
| 04 | 財務ハイライト／セグメント別業績の概況 | 07 | 株式の状況 |
| 05 | Special Report
・全固体電池向け固体電解質「A-SOLiD®」 | 07 | 株主メモ |
| | | 07 | 役員 |

第100期
上半期報告書

2024年

4月1日

2024年

9月30日

証券コード：5706





創業150周年を迎えた三井金属グループ

2024年9月24日、おかげさまで三井金属グループは創業150周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆さまの変わらぬご支援の賜物です。心より御礼申し上げます。150年の歴史を振り返りますと、経営が非常に厳しい時期もありましたが、永きにわたり三井金属グループが存続できたこと、非常に嬉しく思います。

三井金属グループの創業は、1874年(明治7年)9月に当時の三井組が神岡鉱山の経営権を取得し

たことです。鉱山・製錬事業からスタートしましたが、そこから「探索精神と、多様な技術の融合」により多角化し、最先端の電子材料といった機能材料事業など幅広い事業を展開しております。2022年度からスタートした中期経営計画「22中計」では、パーパス「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を制定し、統合思考経営の本格導入・推進により、社会的価値の向上と経済的価値の向上を進めております。

「25中計」のスタート、そして「三井金属鉱業」は「三井金属」へ

2024年度は「22中計」の最終年度であるとともに、次期中計「25中計」の策定の年でもあります。2025年度からスタートする「25中計」では、「22中計」で掲げた各重点施策をさらに発展加速させるとともに、2030年のありたい姿である全社ビジョン「マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。」の実現に向けて、新たな施策を検討してまいります(「25中計」の発表は2025年5月を予定しております)。

また、2024年9月13日付「商号変更に関するお知らせ」でお知らせしました通り、2025年6月開催予定の第100期定時株主総会において定款の一部変更が承認されることを条件に、2025年10月に商号を変更する予定です。「三井金属鉱業株式

会社(Mitsui Mining and Smelting Company, Limited)」は「三井金属株式会社(Mitsui Kinzoku Company, Limited)」へ変わります。これは、祖業である鉱山・製錬業(Mining and Smelting)をやめるということではなく、「探索精神と多様な技術の融合」により、鉱山・製錬業に限らず、多様な事業を営んでいる現在の姿をより明確に反映させるものです。

私たち三井金属グループは創業150周年を越え、パーパスを基軸に全社ビジョンを実現することで、今後もサステナブル(持続可能)な社会作りに貢献してまいります。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

150年の歴史を、「地球を笑顔にする。」ために。
三井金属がある社会を、これからも。

代表取締役社長 **納 武士**

三井金属グループのあゆみ



詳しくお知りになりたい方はこちらをご覧ください。 <https://www.mitsui-kinzoku.com/150th/history/>

三井金属 創業150周年広告およびサイトの紹介

おかげさまで三井金属は、2024年9月24日に創業150周年を迎えました。ここでは、創業150周年を記念して制作した広告と周年サイトを紹介します。

創業150周年記念広告

創業150周年を記念して制作した特別な広告を、2024年9月24日からテレビ、YouTube、新聞で展開いたしました。ご覧いただけましたでしょうか。俳優の井桁弘恵さんを起用した広告のコンセプトは「未来ミュージアム」。そこには様々な色や形状の素材が集まります。一つひとつを不思議そうに見つめる井桁弘恵さんに、案内役キャラクターの「ミテルくん」が最先端の技術を支える三井金属グループの製品を紹介していきます。創業150周年を越えて、次世代のものづくりメーカーとして新たな

価値を創造し、未来に向かって進もうとする三井金属グループをアピールする内容となっています。

テレビCMは一部継続中ですが、2025年1月には再度テレビ、YouTube、新聞で大きく広告を展開する予定です。



画像をクリックしてCM動画をご覧ください



新聞広告(2024年9月25日 日本経済新聞朝刊掲載)

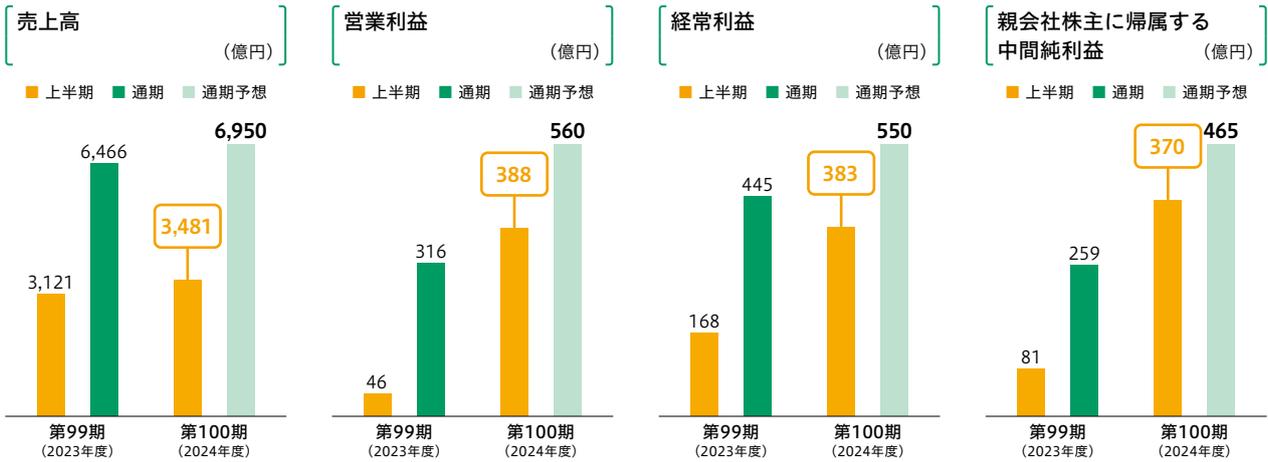
創業150周年記念サイト

創業150周年記念サイトでは、右記のコンテンツを掲載しております。周年期間限定の特別コンテンツですので、ぜひご覧ください。



画像をクリックして創業150周年記念サイトをご覧ください

- 代表メッセージ
- CMギャラリー
CM動画だけでなく、CMのメイキング動画もご覧いただけます。
- 三井金属「未来ミュージアム」
CM動画に出てくる製品を、それに携わる従業員が紹介します。
- 150周年記念ロゴ
従業員の投票で決めたロゴに込めた想いを紹介します。
- 三井金属のあゆみ
- 拠点リレーエッセイ
三井金属の主要拠点について紹介します。(随時追加予定)
- 150周年イベントレポート
周年を記念して実施している社内・社外イベントを紹介します。(随時更新予定)
- 創業150周年記念誌、三井金属検定
従業員に配付した創業150周年記念誌の電子データと、記念誌の内容を元に作成した「三井金属検定」を掲載しております。ぜひ三井金属検定にチャレンジしてみてください!



※ 通期予想につきましては、2024年11月8日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

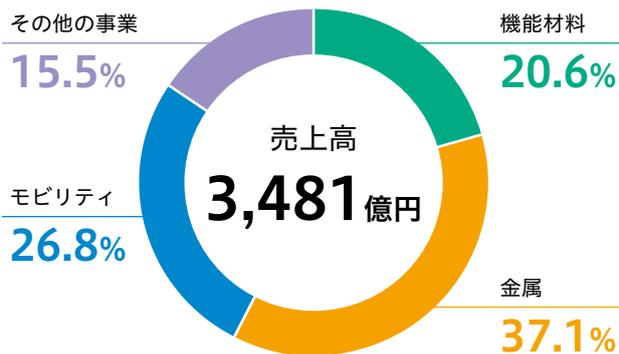
セグメント別業績の概況

機能材料セグメントは、キャリア付極薄銅箔をはじめとした主要製品の販売量が増加したこと等により、売上高、経常利益ともに増加。

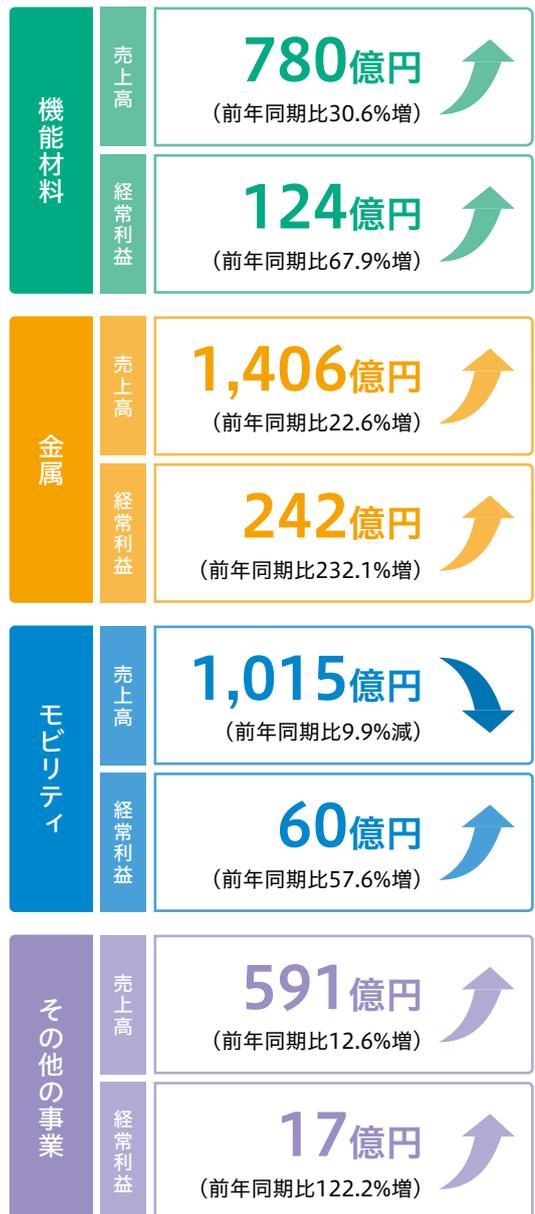
金属セグメントは、亜鉛のLME(ロンドン金属取引所)の平均価格が上昇したこと、為替の円安と非鉄金属相場の変動に伴う在庫要因が好転したこと等により、売上高、経常利益ともに増加。

モビリティセグメントは、二輪車向け排ガス浄化触媒の販売量は増加したものの、自動車ドアラッチの減販等により売上高は減少。触媒の主要原料であるパラジウムおよびロジウムの価格変動による影響が好転したこと等により、経常利益は増加。

その他の事業は、国内の子会社によるリサイクル原料の取扱高が増加したこと、持分法による投資利益が好転したこと等により、売上高、経常利益ともに増加。



※ 各セグメントの売上高および経常利益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。



全固体電池向け固体電解質「A-SOLiD®」

「全固体電池」と三井金属の固体電解質「A-SOLiD®」

全固体電池向け固体電解質の
2030年のビジョン

全固体電池を通じて脱炭素社会実現に貢献し、
固体電解質のリーディングカンパニーとしての地位を確立する

次世代の二次電池として、一部用途では実用化が進み、さらに車載用途での実装が期待されるのが全固体電池です。全固体電池は従来の液系二次電池と比較し、使用温度域が広いこと、安全性が高いことが特徴で、小型軽量化、急速充電、高エネルギー密度化の実現といった提供価値が期待されています。

全固体電池において特に重要な材料が、固体電解質です。固体電解質の種類には酸化物系、硫化物系、ポリマー系があり、現在は特に硫化物系固体電解質の実用化に向けた取組みが進んでいます。三井金属が開発したアルジロダイト型硫化物固体電解質「A-SOLiD®」は、他の硫化物固体電解質と比較し、固体電解質に求められるイオン伝導

率、電位安定性、成形性、微粒化、量産性といった項目が総合的に優れているという特徴があります（当社調べ）。つまり、固体電解質としての性能に優れるだけでなく、全固体電池に適した粉体に制御することができ、さら

に量産性に優れた材料です。おかげさまで三井金属のA-SOLiD®は、国内外から幅広くサンプル供給のご要望をいただいております。複数のお客様において開発標準材料として位置づけられ、さらなる需要が見込まれております。



アルジロダイト型硫化物
固体電解質「A-SOLiD®」

「A-SOLiD®」の初期量産工場の建設を決定

A-SOLiD®の事業化推進の取組みは、これまで順調に進捗してきました。

2016年 硫化物固体電解質を開発
※2016年11月24日リリース(リリースはこちら)

2019年 量産試験用設備の導入決定
※2019年12月5日リリース(リリースはこちら)

2021年 A-SOLiD®量産試験用設備からの供給開始
※2021年11月11日リリース(リリースはこちら)

2023年 量産試験用設備の生産能力倍増決定
※2023年2月7日リリース(リリースはこちら)

2024年 量産試験用設備の第2次生産能力増強決定
※2024年1月26日リリース(リリースはこちら)

2024年
9月24日
リリース
全固体電池向け固体電解質
「A-SOLiD®」の「初期量産工場」新設に
関するお知らせ
(リリースはこちら)

現在は量産試験用設備の第1次生産能力増強が完了し、設備はフル稼働している状況で、第2次生産能力増強(立ち上げ時の3倍)を進めておりますが、さらにお客様からの引き合いが強くなっております。このように事業化推進が順調に進む中、一部のお客様においては2027年近傍に全固体電池を搭載したEVの初期市場導入が計画されており、A-SOLiD®が電池特性を左右するキー・マテリアルとして採用される見通しが高まってまいりました。A-SOLiD®の引き合いが大きく強まっていることに加え、採用の確度が高まったことから、この度初期量産工場の建設を決定しました。

A-SOLiD®のプロセス開発は現在も継続しており、生産のみならず、将来の大規模量産に向けたプロセス開発の要素も含んだ初期量産工場を予定しております。2027年に稼働を予定しており、第2次生産能力増強後の量産試験用設備と合わせ、世界最大規模の固体電解質の生産能力を備えることになると見込んでおります。

当社は、「A-SOLiD®」の事業化推進をさらに加速させ、お客様や市場パートナーの皆さまと全固体電池の実用化に向けた取組みを進めてまいります。

7月

**連結子会社
日本結晶光学の
株式を譲渡**



当社が100%の持分を保有する連結子会社である日本結晶光学株式会社について、当社が保有する全株式を株式会社丸の内キャピタルが管理・運営する丸の内キャピタル第三号投資事業有限責任組合の特別目的会社に譲渡しました。日本結晶光学は、光学単結晶およびその応用製品を、半導体製造装置やX線検出器などの分野へ提供しています。当社は2022年度より事業ポートフォリオの動的管理を行い、「資本効率化」を図るため、価値の再構築事業を中心に社外のベストオーナーの探索を続けてきました。事業特性に合った機動的かつ柔軟な意思決定を可能にすることが同社のさらなる成長・拡大につながると考え、2024年7月に丸の内キャピタルへ譲渡しました。

9月

**2025年10月1日に
「三井金属株式会社」へ
商号変更**



当社は1952年に、当時は「鉱業・製錬：Mining & Smelting」を中心に事業を営んでいたことから、社名を現在の三井金属鉱業株式会社といたしました。現在では鉱業・製錬に限らず「マテリアルの知恵を活かす」多様な事業を営んでいます。2024年9月に創業150周年の節目を迎え、さらに来年度から次期中期経営計画「25中計」がスタートすることを踏まえ、現在の業容をより明確に反映するとともに、当社グループがこれまで以上に一体となって「人類への貢献」と「環境への貢献」を両立する統合思考経営を実践し、持続的な企業価値向上の仕組みを構築することを目的に、商号変更を決定しました。

呼称である三井金属(英語表記：MITSUI KINZOKU)とコーポレート・シンボルの変更はございません。

9月

**創業150周年記念式典を
開催**



記念式典で挨拶する納武士社長

当社は三井金属グループ創業150周年記念式典を2024年9月24日、ゲートシティホール(東京都品川区)で開催しました。1874年に三井組が神岡鉱山蛇腹平坑を取得し近代的な鉱山経営を開始してから150年。式典の中で納社長は従業員、地域の皆さま、お客様をはじめ、当社グループに関わっていただいている全ての方々に対し、感謝の意を示し、「時代の進化に適応する次世代のものづくりメーカーとして、さらなる成長をしていく」と意気込みを述べました。創業以来、150年の歴史の中で培ってきた「探索精神」と「多様な技術の融合」というDNAをもって、「地球を笑顔にする。」、三井金属グループのパーパスを基軸に、これからも力強く歩を進めてまいります。

会社概要 (2024年9月30日現在)

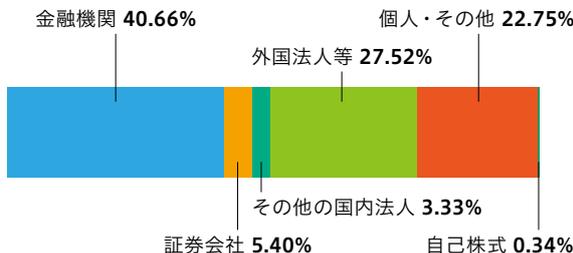
商号	三井金属鉱業株式会社
	(Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.)
	[呼称: 三井金属/MITSUI KINZOKU]

本店	東京都品川区大崎一丁目11番1号
設立	1950年5月1日
資本金	42,289百万円

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	190,000,000株
発行済株式総数	57,381,552株
株主数	35,803名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,493	20.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,330	14.56
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,511	2.64
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,345	2.35
三井金属社員持株会	1,331	2.32
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	996	1.74
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	841	1.47
JPモルガン証券株式会社	836	1.46
三井金属取引先持株会	814	1.42
JP MORGAN CHASE BANK 385781	759	1.32

※ 持株比率は自己株式(198,934株)を控除して計算しております。
 ※ 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-782-031

株式に関するお手続き・よくある質問はこちら
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

公告の方法

電子公告とする。(https://www.mitsui-kinzoku.com/toushi/stock_info/denshikoukoku/)ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

〈株式事務のお取扱い〉

- 未払配当金の支払いのお申出先
 左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先
 ① 証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
 ② 証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

役員

取締役

納 武士
 代表取締役社長

岡部 正人
 代表取締役専務取締役 兼
 専務執行役員/機能材料事業本部長

池信 省爾
 常務取締役 兼 常務執行役員
 経営企画本部長

山下 雅司
 取締役 兼 常務執行役員
 経営企画本部長

戸井田 和彦
 社外取締役

武川 恵子
 社外取締役

監査等委員である取締役

志岐 和也
 取締役 監査等委員

石田 徹
 社外取締役 監査等委員

井上 宏
 社外取締役 監査等委員

川西 幸子
 社外取締役 監査等委員

常務執行役員

井形 博史
 常務執行役員
 モビリティ事業本部長

安田 清隆
 常務執行役員
 事業創造本部長

齋藤 修
 常務執行役員
 金属事業本部長

川原 誠
 常務執行役員
 技術本部長

執行役員

宮園 武志
 杉元 晶子
 加藤 和照
 岡田 和之
 山本 拓也
 若井 健太郎
 落合 健司
 吉本 誠一郎
 須戸 達哉
 関口 知生

フェロー

薦田 康夫

理事
 大野 寿宏



三井金属鉱業株式会社

コーポレートコミュニケーション部
 〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号
 TEL: 03-5437-8028

